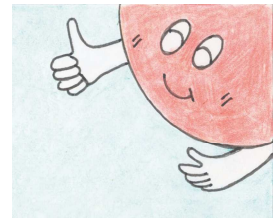


ソーラーシェアリングの

落合農園だより -その6- 2020, 2, 24



◆落合農園の紹介

農地の上にソーラーパネルを設置し、発電と営農を分かち合う(シェアする)厚木市初のソーラーシェアリングの農園です。一般社団法人あつぎ市民発電所とともに、農業振興と再生可能エネルギーの普及を目指します。無農薬で化学肥料も最小限(いずれは不使用も)という安心安全な農産物を栽培します。皆様ぜひお買い求めください!農園のご参観も大歓迎です!

あつぎ市民発電所オリジナルキャラ
ひまりんちゃん

農園主 落合清春 080-5091-8844 メール koshun@live.jp

場 所 厚木市飯山885-1

県道厚木清川線 バス停「ゴルフ場入口」から厚木方面に戻り、徒歩1分 右側

◆トピックス

●津久井島村農園訪問記

2/6(木)午後、旧津久井町(現相模原市緑区)の津久井島村農園を訪問しました。あつぎ市民発電所会員の本間紀子さん(伊勢原在住)も同行されました。同農園では、園主の島村正史さんによって10年間自然栽培が継続しています。自然栽培とは、「太陽、水など自然の力だけを頼りに、土の中の微生物・バクテリアの働きによって、土や大気中にある窒素、リン酸などを栄養として取り込んで、米や野菜や果樹などを育てる栽培方法であり、農薬だけでなく、化学肥料・有機肥料も使わず、自然から授かったいのちの営みを、人のいのちに素直につなぐ農法」です(自然栽培パーティのHPより抄出)。

島村さんがもっとも力説されていたのは、「きれいな土をつくる、それによって体に良い安心な農作物をつくる」ということでした。そのため、農地には農薬はおろか、普通よく使われている牛糞堆肥や化学肥料も一切使わず、ヘアリーベッチやエン麦を使って、土壌改良を図り、野菜の植物としての本来の力を引き出すという農業を展開しています(津久井島村農園の写真参照。「ヘアリーベッチに覆われた農地」「いただいたルッコラ、ワサビ菜:柔らかく味が濃かったです」)。



さらにありがたいことに、島村さんには、お忙しい中、2/10に落合農園に来ていただき、実地指導もしていただきました。

自然との共生を図りつつ収量も安定させたい、これがソーラーシェアリングに当たっての目標です。今後も多くの実践家に学びたいと思います。



※落合農園だよりは、少し時間差が出ますが、あつぎ市民発電所のHPでもご覧いただけます。



ソーラー君

